

# ブエラの19

メス 2019年3月3日生 | 青鹿毛 | 道営・佐々木国明厩舎 | サンバマウンテンファーム生産



一口価格：6,600円 ※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません 募集口数：1000口【競走馬出資金総額 660万円】



## ● 調教師コメント (道営・佐々木国明調教師)

1歳の11月初旬に競馬場に移動してきて、初期馴致から開始しました。まだ子供っぽい部分が多く、人間の指示を理解するのに時間は掛かりましたが、12月からは坂路調教に進むことができました。まだまだハミの取り方や前進氣勢には物足りないところがあり、課題が残るので早熟とは言えないかもしれません。そのため、じっくり進めていくのが良いかなとも思いますが、早いうちから競馬をして実戦で覚えていくという手もあるので、そのあたりは進めながら見極めていければと思います。食欲旺盛なタイプなので、たくさん食べてたくさん鍛えて、しっかり力を付けていきたいと思っています。

## ● 治郎丸敬之の馬体診断

かつて血統評論家の山野浩一氏が、種牡馬の年齢によって産駒に伝わる能力は異なってくると指摘されていたことを覚えています。種牡馬入りして最初の頃は、芝のマイル路線で活躍する産駒が多かったのにもかかわらず、いつの間にか、長距離戦線やダートで得意とする産駒が増えてくるということです。キンシャサノキセキは、シュウジ(小倉2歳S、阪神C)やカシアス(函館2歳S)といった芝のスプリンターを当初は出しましたが、ここにきてヒラボクラターシュやストロベリームーンなどダートで活躍する産駒が目立ち始めています。僕が血統論を語っても仕方ないのですが、何が言いたいのかというと、種牡馬としては高齢にさしかかったキンシャサノキセキの産駒に、ダートでレースが行われる道営競馬で出資するのは正しいということです。走るキンシャサノキセキ産駒については、昨年カタログでも語ったように、とにかく馬体の完成度が高く見栄えのする馬を狙えということです。ブエラの19は実にマッチョで前駆もトモも筋肉量が多くて力強く、間違いなくダートは合っています。距離は短い方が良さそうです。やや脚元に心配がありそうなので、そういう意味でも安心して走れるダートがベストですね。